

令和7年2月12日

報道関係者

出版関係者 各位

国立民族学博物館

広報企画会議長 山中 由里子

報道関係者と民博との懇談会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本館の広報活動については、平素から格別のご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、本館の研究や展示についての旬な話題をよりわかりやすくお伝えするために、標記懇談会を下記のとおり開催いたしますので、ご多用のこととは存じますが、是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、今回の懇談会については、館内の会議室での開催にあわせて、Web 会議システム（Zoom）による配信を行います。懇談会は事前申込制とさせていただきますので、別紙の報道関係者と民博との懇談会参加申込書に必要事項を記載のうえ、2月18日（火）までにメールにてご返信ください。

来館での参加を希望される方は、本紙を印刷、またはスマートフォンで表示した画面を自然文化園窓口（車両の方は迎賓館口）にてご提示ください。同園内を無料でご通行いただけます。

敬具

記

日 時：令和7年2月20日（木）15:30～17:00 第1会議室

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続き館長室にてご懇談ください。

○主な話題

- ・最新の研究紹介「ガラパゴスを歩いた男——朝枝利男の太平洋探検記」（話者：丹羽典生 教授）
- ・公開講演会「不安の時代——若き人びとの心のゆくえ」（話者：諸昭喜 准教授）
- ・講演会「いま、中東世界で何が起きているのか？——前・駐レバノン大使に聞く」（話者：岡本尚子 特任助教）
- ・みんなく創設50周年記念国際シンポジウム
「アート、人類学、ミュージアム—その過去、現在、そして未来」（話者：吉田 憲司 館長）

※話題の詳細については、別紙「話題一覧」をご参照ください。また話者は変更になる場合がございます。

報道関係者と民博との懇談会参加申込書

報道関係者と民博との懇談会に、

ZOOMにて参加する

来館して参加する

貴社名 _____

御職名 _____

御芳名 _____

メールアドレス (ZOOM 参加者のみ)

(こちらのアドレスに ZOOM のミーティング用 URL を送付します。)

【ZOOM について】

- ・ ZOOM 参加メールは後日に配信します。メールに ZOOM のミーティング用 URL を記載しておりますのでご確認ください。
- ・ 2月20日(木) 15:15 から接続が可能となりますので、参加メールに記載の URL からミーティングルームにお入りください。
- ・ ミーティングルームに入室の際はご所属と氏名をご表示ください。

※事前に ZOOM アプリのインストールをお願いします。

※懇談会開始時に参加者全員に強制ミュートをかけさせていただきます。

※懇談会中はミュート設定をオンにし、音声がでないようにお願いします。

質問や発言をしたい場合、ミュートをオフにいただければ司会者が指名します。

不適切な発言等により進行に支障が生じる場合は退室いただく場合がございます。

令和7年2月20日（木）報道関係者と民博との懇談会
15:30~17:00 於：第一会議室

話題	内容	担当（予定）	予定時刻 （分）	備考
挨拶	ご挨拶	吉田 憲司 館長	3	定例
ニュースリリース	3ヶ月行事予定	山中 由里子 広報企画会議長	2	定例
【 研究 】				
最新の研究	ガラパゴスを歩いた男——朝枝利男の太平洋探検記	丹羽 典生 教授	5	
公開講演会	不安の時代——若き人びとの心のゆくえ	諸 昭喜 准教授	10	
講演会	いま、中東世界で何が起きているのか？——前・駐レバノン大使に聞く (グローバル地中海地域研究拠点)	岡本 尚子 特任助教	10	
【 シンポジウム 】				
みんなく創設50周年記念事業	みんなく創設50周年記念国際シンポジウム 「アート、人類学、ミュージアム—その過去、現在、そして未来」	吉田 憲司 館長	10	

合計時間 40 分（予定・質疑応答別）

※質疑応答40分想定

◆今後の予定
令和7年3月19日（水）みんなく創設50周年記念特別展「民具のミカタ博覧会—見つけて、みつめて、知恵の素」内覧会

報道関係者と民博との懇談会

話題一覧

2025年2月20日(木)15:30~17:00

懇談会

1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長) —

2. ニュースリリース

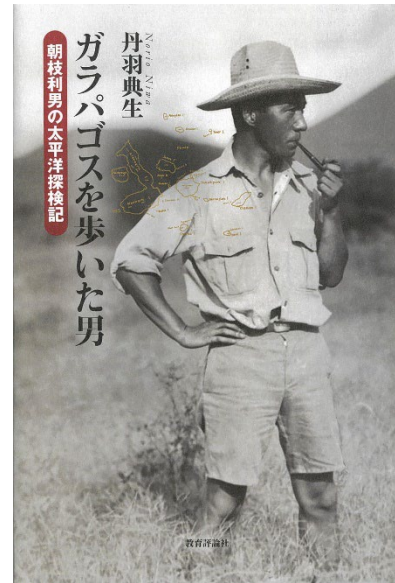
●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 山中 由里子 (議長) —

3. 最新の研究紹介

『ガラパゴスを歩いた男 ——朝枝利男の太平洋探検記』

(丹羽典生 著/教育評論社)



— 丹羽 典生 (グローバル現象研究部 教授) —

4. 【館外開催】みんな公開講演会「不安の時代——若き人びとの心のゆくえ」

不安の時代を生きる若年層。グローバルな状況を敷衍しつつ、ローカルな人類の実践に目を向け、不安をめぐる多様な視点とアプローチを模索します。

日時：2025年3月21日(金)
18:30 ~ 21:00 (開場 17:30)

会場：オーバルホール
(大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞大阪本社ビルB1)

主催：国立民族学博物館、毎日新聞社

定員：480名 (要事前申込み/先着順)

参加費：無料

申込期間：3月11日(火)まで

※館外での開催となります。ご注意ください。



— 諸 昭喜 (グローバル現象研究部 准教授) —

5. いま、中東世界で何が起きているのか？——前・駐レバノン大使に聞く

中東外交の第一線で活躍してきた前大使の体験をもとに、中東世界の深層を知り、地球社会のメンバーとしてこれからの世界をともに考えます。

日 時：2025年3月22日（土）
13:30～16:00（開場13:00）
会 場：みんなくインテリジェントホール（講堂）
主 催：NIHU グローバル地中海地域研究 国立民族学博物館拠点
共 催：国立民族学博物館、公益財団法人千里文化財団
定 員：350名（要事前申込み／先着順）
参加費：無料（展示をご覧になる方は展示観覧券が必要です）
申込期間：3月14日（金）まで



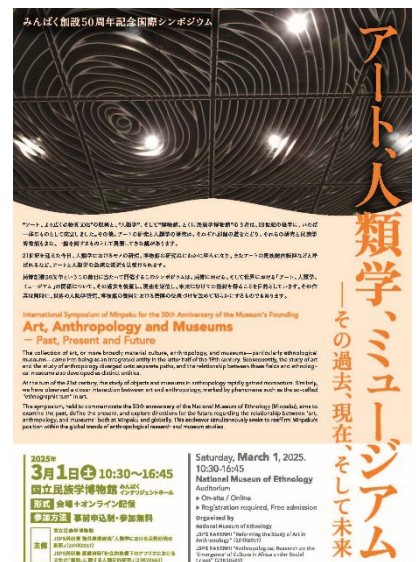
— 岡本 尚子（人間文化研究創発センター研究員・国立民族学博物館 グローバル地中海地域研究拠点 特任助教） —

6. みんなく創設50周年記念国際シンポジウム

「アート、人類学、ミュージアム—その過去、現在、そして未来」

民博創設50周年というこの節目に当たって開催するこのシンポジウムは、民博における、そして世界における「アート、人類学、ミュージアム」の関係について、その過去を検証し、現在を定位し、未来にむけての指針を得ることを目的としています。その作業は同時に、世界の人類学研究、博物館の動向における民博の位置づけを改めて明らかにするものでもあります。

日 時：2025年3月1日（土）10:30～16:45
会 場：みんなくインテリジェントホール（講堂）
主 催：国立民族学博物館、JSPS 科研費 海外連携研究
「人類学における芸術研究の刷新」(20KK0017)、
JSPS 科研費 基盤研究「社会的危機下のアフリカにおける文化の「創発」に関する人類学的研究」(23K20563)
定 員：会場参加 350名、オンライン参加 500名（要事前申込み／先着順）
参加費：無料（展示をご覧になる方は展示観覧券が必要です）
申込期間：2月25日（火）まで



— 吉田 憲司 館長 —